



おもてなしの雰囲気づくりを行っています！

- ・堀先生のご提案を受けて、菊まつり開催にあわせ、それぞれの店舗が店先にベンチや花などを置いておもてなしのしつらえを行っています。
- ・昼間でも照明を入れて、外からお店の中がよく見えるような工夫もしています。



堀先生をお迎えしての「意見交換会」開催のご案内 ～あなたのご意見をお聞かせください！～

笠間稲荷門前通りのまちづくりに関する検討状況について、堀先生をお迎えし「意見交換会」を実施しますので、みなさんのご参加をお待ちしております。

- ・日 時
12月17日(木曜日)
午後7時から
- ・場 所
笠間市役所 笠間支所
2階会議室



「笠間稲荷門前通り」 まちづくりニュース

笠間市の観光核である「笠間稲荷神社周辺地域」においては、商店街の活性化に向けて、TMOや商店街と行政とが連携し、地域特性を活かして来街者をおもてなしする雰囲気づくりを進めるための取り組みを行っております。

「笠間稲荷門前通り」についても、まちの特性を活かしつつ、景観づくりを意識したまちづくりを検討しています。

そこで、地域のみなさんと行政との情報の架け橋として、「笠間稲荷門前通り」まちづくりニュースを発行します。

地域のみなさんには「笠間稲荷門前通り」のまちづくりについて知っていただき、関心を持っていただけるように、まちづくり・みちづくりに関するさまざまな話題や検討状況等についての最新情報をお届けしていきます。

たくさんのご意見をいただくとともに、多くの情報を共有し、地域のみなさんと一緒にまちづくり・みちづくりを考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

特集

笠間稲荷門前通り活性化勉強会 を開催しました！

堀 繁 先生(東京大学教授)を講師にお迎えし、商店街のみなさんを中心とした勉強会を開催しました。
今回のまちづくりニュースでは、先生のお話のポイントを紹介します。



▶▶▶ 第1回勉強会「門前通り等商店街活性化の理論」

勉強会の開催目的

- ・現在の経済・財政状況においては、やり直しがきかないため、門前通りの道路整備にあたって、市がこれからやろうとしていることが失敗しないようにチェックし、指摘してもらいたいと思います。
- ・みなさんの子ども・孫のことを考えて、まちが元気になる方向を考えてほしいと思います。



堀 繁 先生
(東京大学アジア生物資源環境研究センター教授)
専 門：景観デザイン、景観工学、計画設計思想史、地域計画
主な経歴：
環境庁自然保護局主査、東京大学農学部助手、東京工業大学社会工学科助教授などを経て、平成8年3月より現職。
国土審議会、歴史的風土審議会の各専門委員の他、建設省「道路環境計画」、農水省「日本の美しい村景観コンテスト」、水産庁「美しい漁村づくり」、環境庁「日本の音風景100選」、国土庁「地方振興方策のあり方に関する検討」、日本道路公団「高速道路景観整備実践マニュアル」など、国、公団、地方公共団体等の各委員会座長・委員等を歴任。

まちの活性化の目的と目標

- ・ 笠間が元気になるためには、真ん中が元気にならなければいけません。市内いくつかある真ん中のうちでも、門前通りは特に重要な位置づけにあります。
- ・ まちが元気になるには、たくさんの人が来て、たくさんお金を落としてもらうことが必要です。しかし現状は、300万人の観光客が来て、笠間稲荷神社に片寄り、門前通りに人があふれる状況にはなっていません。



かつてのにぎわいある様子（昭和27年頃）



人通りが少ない現在の様子

誰もが行ってみたいくなるまちとは

- ・ 来街者や観光客は、歩いて・見て・休むの3つの行動をすることが基本です。
- ・ 歩く場所は道であるため、道が歩いて楽しいとなっていることが重要です。
- ・ また、人は沿道の建物を見るため、沿道の建物が見て楽しいことも重要です。人はずっと歩き続けることはできないため、食事をしたりお茶を飲んだりして快適に休む場所も必要です。

ポイント▶▶▶

誰もが行ってみたいくなるまちは、道・沿道の建物・滞留拠点(休憩所)の3つが魅力的であること

歩いて楽しい道とは

- ・ 人が通れない車道の方が広い道は、人よりも車が大事と言っています。道の特等席は真ん中であり、そこが車道であるということは、人は端の狭いところで我慢しろと言っているように見えてしまいます。
- ・ 人が主役になれる雰囲気づくりが必要です。笠間の道はどうでしょうか。

写真提供（左右とも）：堀先生



車道と歩道の間に設けられた休憩スペース



道路中央に設けられた広幅員の休憩スペース

まちが評価される「みちづくり」のあり方

- ・ 道が人のことを大事にしているように見えるか見えないかで人は評価しています。
- ・ 例えば、車道が歩道よりも狭くなっているように見える、歩道の方が車道の方より広い、人をもてなすしつらえが目立つ、休憩スペースがある等、車よりも人のことを大事にしているように見えると評価されます。
- ・ 現在の門前通りは、歩道にゆとりがなく、休憩スペースがなく、人を優先とした道路にはなっていません。

どちらのまちに行ってみたいですか？笠間の道はどちらに近いですか？

写真提供（左右とも）：堀先生



魅力的な滞留拠点（休憩所）づくり

- ・ 複数の利用者が同時に休めることが重要です。
- ・ ほかの人が楽しそうに休んでいる姿を見ると、私も楽しいと感じられます。
- ・ ベンチや縁台、日除け、花などの丁寧なしつらえでもてなすことが大切です。
- ・ 飲食を提供することも重要です。

魅力ある門前通りにするための3つのポイント▶▶▶

道を楽しそうにする（車優先から人優先に、細部まで丁寧に作る）
 滞留拠点を作る（楽しく休めるところ）
 のぞいて見たくなる楽しい店を作る（小物で楽しさを演出）

写真提供（右）：堀先生



車道から車道らしさが取り除かれ、人優先に作られた道路



楽しく休める滞留拠点（休憩所）